

第 113 回
日本医学放射線学会
中国・四国地方会

プログラム

日 時：平成 21 年 12 月 18 日（金）

12 月 19 日（土）

会 場：高知市文化プラザかるぽーと（7 階）

〒780-8529 高知県高知市九反田 2-1

TEL : 088-883-5011

当番世話人：高知大学医学部 放射線医学講座

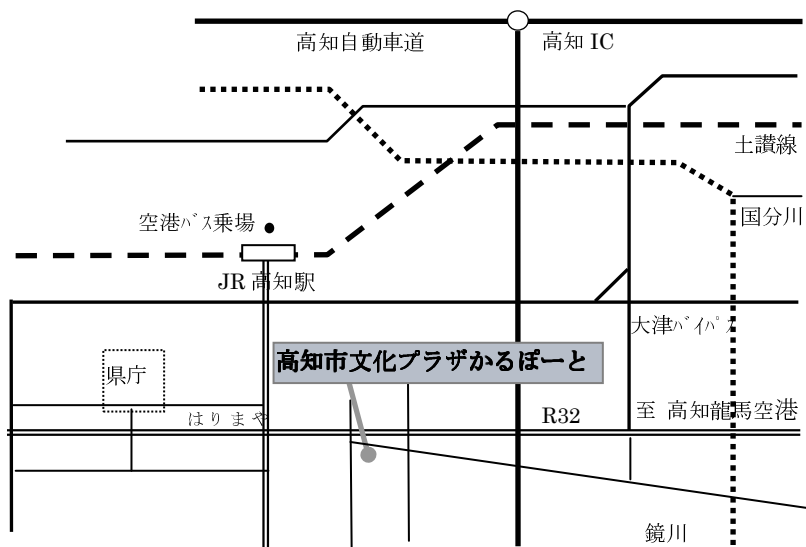
小 川 恭 弘

**** 会場のご案内 ****

高知市文化プラザかるぼーと

〒780-8529 高知県高知市九反田 2-1

TEL : 088-883-5011



高知駅より

- 電車 (土佐電鉄) 「はりまや橋 下車 徒歩 5 分」
. 「菜園場 下車 徒歩 3 分」
- バス (土佐電鉄・県交通) . . . 「八幡通 下車 徒歩 1 分」
- 車で 5 分

高知インターチェンジより

- 車で 10 分

高知龍馬空港より

- 車で 30 分
- 空港連絡バスで 30 分 (はりまや橋下車 徒歩 5 分)

【駐車場ののご案内】

会場地下有料駐車場	収容台数	200 台
	駐車料金	30 分 150 円 (8 : 30 ~ 22 : 00)
	深夜料金	1,000 円 (21 : 30 ~ 翌日 9 : 00)
	営業時間	8 : 30 ~ 22 : 00

** お知らせ **

● 受付

1. 受付は 12 月 18 日（金）は午前 11 時 30 分より、12 月 19 日（土）は午前 8 時 30 分より高知市文化プラザかるぽーと/市民ギャラリー7 階にて行います。
2. 参加費は 3,000 円です。ネームカード・出席証明書・領収書をお渡し致します。

● 演題発表

1. 発表時間は 6 分、討論は 2 分です。発表される先生は時間厳守を心がけてください。
2. 発表は Power Point による PC プレゼンテーションのみとなります。

● PC

1. 発表データは Power Point 2000 以上で作成したものを USB メモリまたは CD-R にてお持込下さい。
2. フォントは OS 標準のもののみでお願いします。
3. 画像の解像度は XGA 1024×768 です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますのでご注意ください。
4. 発表者は発表 60 分前までに PC 受付で、発表受付をお済ませ下さい。
5. 発表データのファイル名は「演題番号 氏名」として下さい。
6. スライドの送り操作はご自身で行ってください。
7. PC をお持ち込みの場合、以下の点にお気をつけ下さい。
 - ・ 動画や Macintosh をご使用の方はご自身の PC 本体をお持ち込み下さい。
 - ・ 発表 60 分前までに PC 受付にお持ち下さい。発表終了後は PC 受付に取りに来て下さい。
 - ・ 接続端子は D-SUB mini15 ピンを用います。異なる形状の出力端子の場合は各自アダプターをご持参下さい。（念のため、発表データのバックアップを USB メモリまたは CD-R でご持参下さい。）
 - ・ 電源ケーブルはお忘れなくお持ち下さい。

● 抄録

演題抄録（演題番号、演題名、所属、発表者、共同演者名を含み、400 字以内、ワード形式）を e-mail にて rad113@kochi-u.ac.jp までお送り下さい。締め切りは 12 月 19 日（土）です。締め切りを厳守下さい。

● その他

懇親会はございません。

**** ご案内 ****

● 世話人会

日時：12月18日（金）12：00～13：00

会場：高知市文化プラザかるぽーと 市民ギャラリー（7階）第4展示室

● 教育セミナー I

日時：12月19日（土）9：00～10：00

会場：高知市文化プラザかるぽーと/市民ギャラリー7階

1. 講師：山下 武則 先生（川崎医大）
演題：「IVR（血管造影）」
司会：伊藤 悟志（高知大）
2. 講師：柏戸 宏造 先生（広島赤十字・原爆病院 放射線科）
演題：「放射線腫瘍学（悪性リンパ腫・造血器腫瘍）」
司会：西岡 明人（高知大）

※ 朝食を用意しております。（協賛：第一三共株式会社）

● 教育セミナー II

日時：12月19日（土）12：10～13：40

会場：高知市文化プラザかるぽーと/市民ギャラリー7階

1. 講師：笹井 信也 先生（岡山画像診断センター）
演題：「放射線診断学（泌尿器）」
司会：濱田 典彦（高知大）
2. 講師：三好 秀直 先生（鳥取大）
演題：「核医学（脳）」
司会：大西 剛直（高知大）
3. 講師：長尾 充展 先生（愛媛大）
演題：「放射線診断学（血管・脈管）」
司会：田所 導子（高知大）

※ 昼食を用意しております。（協賛：バイエル薬品株式会社）

● **治療懇話会**

日時：12月19日（土）13:40～15:40

会場：高知市文化プラザかるぽーと/市民ギャラリー7階

・自由演題（13:40～14:25）

「子宮頸癌に対する放射線治療成績の検討」

「1例目のAPBIを実施して」

「放射線治療計画時の造影剤によるMU値の変化について」

・特別講演（14:40～15:40）

「放射線治療におけるトランスレーショナルリサーチ」

講師：佐々木 良平 先生

（神戸大学大学院 医学系研究科 内科学系講座 放射線医学分野
放射線腫瘍学部門 特命准教授）

（共催：エーザイ株式会社）

● **当番世話人**：高知大学医学部放射線医学講座 小川 恭弘

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL:088-880-2367 FAX:088-880-2368

事務担当：品川 真依子、世宮 寛子

**** 特別講演 I ****

12月18日（金）16：00～16：45

「画像診断コンサルテーションのススメ ～画像診断医の今後を見つめながら～」

国立がんセンター画像診断コンサルテーション推進室

女屋 博昭 先生

座長：高知大学医学部附属病院放射線部 濱田 典彦

画像診断コンサルテーションのススメ

～画像診断医の今後を見つめながら～

【略歴】

- 平成 2年 3月 筑波大学医学専門学群卒業
平成 2年 6月 筑波大学附属病院・放射線科レジデント
平成 5年 4月 筑波大学大学院博士課程・医学研究科形態系
平成 9年 3月 同課程 修了
(板井悠二教授指導；研究テーマ：「肝癌放射線照射療法の画像評価」：博士号取得)
- 平成10年 4月 国立がんセンター東病院・放射線部・医員
平成13年 1月 茨城県立中央病院・地域がんセンター放射線科・医長
平成16年 1月 国立がんセンター中央病院・放射線診断部・医員
平成18年10月 国立がんセンターがん対策情報センター 臨床試験・診療支援部
画像診断コンサルテーション推進室・室長
(国立がんセンター中央病院放射線診断部併任)
——→ 現在に至る

- ・資格：放射線科専門医 IVR 認定医
- ・所属学会：日本医学放射線学会、日本医学放射線学会専門医会、日本磁気共鳴医学会、RSNA、ISMRM、日本肝臓学会、日本消化器病学会、日本肺癌学会
- ・原著論文（英語）：29編（第一著者8編）

【講演要旨】 2006年10月、国立がんセンターがん対策情報センターの開設とともに、画像診断コンサルテーションサービスを開始し早3年が過ぎました。このサービスは放射線科画像診断医を対象とし、がんを疑う症例の画像において、所見の解釈に関する疑問や診断の確認、鑑別診断の悩みなどを、全国の各臓器の専門エキスパート（コンサルタント）に相談できるものです。2007年には完全にオンライン化して業務の効率化を図り、現在では報告所要日数は平均3日程度となっています。報告書は診断意見として扱われ、その内容は詳細かつ正確であり、専門コンサルタントの先生方の深い知識、高い読影技術（力）はやはり目を見張るモノがあります。依頼者と回答者とのキャッチボールをお手伝いしながら、この素晴らしい報告書を恒に確認させていただける幸運な担当者として、このサービスの利用法を紹介し、これまでの経験を振り返りながら、今後の放射線科医の在り方なども考察していきたいと思えます。（お集まりの）先生方にとって、このサービスがすぐ近くにあって、使い易いことを知っていただき、明日からでもぜひ利用していただければ、これ以上の喜びはありません。

** 特別講演 II **

(市民公開講座)

12月18日(金) 17:00~18:00

「放射線治療でがんが治る」

癌研有明病院 顧問

山下 孝 先生

座長：高知大学医学部放射線医学講座 小川 恭弘

—放射線治療でがんが治る—

癌研有明病院 顧問 山下 孝



経歴

1944年 岡山市生まれ
1957年 岡山大学附属中学入学
1963年 東京都立戸山高等学校卒業
1970年 京都府立医科大学卒業
1970年 東京女子医大放射線科
1974年 東京慈恵会医科大学放射線科
1977年 米国ハーバード大学留学1年間
1986年 癌研究会付属病院 放射線治療科医長
1988年 同上 部長
2007年 癌研有明病院 副院長
2009年8月 同上 退任 顧問に就任

元日本放射線腫瘍学会 会長

元日本医学放射線学会 理事

抄録

癌の治療は乳癌治療の変遷などで明らかなように、拡大手術一辺倒の時代から、化学療法、放射線治療をうまく利用した「患者中心の優しい治る治療」へと大きく変換している。この各臨床科が協力して治療をする集学的治療を最近「チーム医療」と呼んでいる。

放射線治療はコンピュータ技術の発展の影響で治療方法が大きく向上した。最近のトピックスをいくつか紹介する。まず、小さい肺癌や肝臓癌への3次元原体照射（定位照射）で、3cm以下の腫瘍は5日間の外来通院外部照射で手術と同程度の成績を得ることが出来るようになった。すなわち、小さい腫瘍は、皮膚に傷一つ作ることなく外来通院で、手術と同じ程度に治すことができるようになった。また、化学療法との併用で頭頸部のがん、食道がんそして肺癌でも手術に劣らない治療成績が報告され、一方、わが国で始まった炭素線治療も治療開始後15年を経過して5000例が治療され、安全性が確保されると同時に治療成績も従来のエックス線治療を凌駕するものとして示された。放射線治療の効果を高める方法として、高知大学では小川教授発案による過酸化水素注入放射線治療が試みられて興味深い結果が報告されているが、私が関係している東京放射線クリニックでその効果を検証しているのでこの点も追加したい。

日本医学放射線学会 中国・四国地方会

一般演題 プログラム

12月18日(金)

12月18日(金) 第1会場【13:10~13:42】

核医学 1

座長：山本 由佳 先生
(香川大)

1. メトトレキサートとの関連が疑われたリンパ増殖性疾患の一例

愛媛県立中央病 放

川口 直人、村上 忠司、小亀 雅広
梶原 誠、山下 恭、松木 弘量
曾我部一郎、石丸 良広、菊池 隆徳
中村 誠治、宮川 正男

2. FDG-PET/CT で腹臥位撮像を追加した癌性胸水の一例

四国がんセ がん検診
同 放診

井上 武、高橋 忠明
菅原 敬文、酒井 伸也、青野 祥司
城戸 倫之

3. FDG/PET-CT を施行した mesenteric fibromatosis の2例

鳥取大 放

仲松 暁、三好 秀直、神納 敏夫
小川 敏英

博愛病 放

中村希代志

米子医療セ 放

田邊 芳雄

4. 唾液腺腫瘍の FDG-PET

川崎医大 放

吉川 邦彦、曾根 照喜、永井 清久
甲谷 理温、大島 康、三村 浩朗
福永 仁夫

12月18日(金) 第1会場【13:42~14:14】

核医学 2

座長：福本 光孝 先生
(田辺病)

5. 当院の認知症診断における VSRAD-MRI、nonVSRAD-MRI、および SPECT の有用性の比較検討

岡山済生会総合病 放

長谷川 明、戸上 泉、富田 晃司
守都 常晴、安井光太郎、石原 節子

6. 脊髄 multiple sclerosis の F-18- FDG PET/CT 所見

セントヒル病 放

菅 一能、河上 康彦、日山 篤人

同 整

関 寿大

山口大 放

松永 尚文

7. 肺血栓塞栓症の経過観察における肺血流 SPECT の意義

セントヒル病 放

菅 一能

山口大 放

岡田 宗正、松永 尚文

8. 肺血栓塞栓症の造影 MDCT と肺血流 SPECT の対比

セントヒル病 放

菅 一能

山口大 放

岡田 宗正、松永 尚文

12月18日(金)第1会場【14:14~15:10】

胸部(診断)

座長：箕田 俊文 先生
(下関総合病)

9. ATP 負荷心臓 CT による心筋虚血評価

愛媛大 放

松田 卓也、細川 浩平、城戸 輝仁
倉田 聖、井上 祐馬、長尾 充展
東野 博、望月 輝一

10. 長期間 GGO として観察され、HRCT で陰影に変化が見られた 1 例

香川大 放

室田真希子、新井 花江、戸上 太郎
内ノ村 聡、福永浩太郎、木村 成秀
山本 由佳、外山 芳弘、西山 佳宏

11. 肺腫瘍を呈した MTX 関連リンパ増殖性疾患の一例

高知医療セ 放療・放

秦 康博、徳弘 有香、野田 能宏
田内 美紀、松阪 聡、森田荘二郎

12. 肺内層に存在する傍壁在性肺気腫の検討

香川県立保健医療大 看
香川大 放

佐藤 功
室田真希子

13. 肺動脈解離の一例

JA 広島総合病 画診

海地 陽子、土田 恭幸、太刀掛俊浩
鈴木 孝之、藤川 光一

14. DIP (剥離性間質性肺炎) と考えられた 1 例

島根大 放

中村 恩、深澤 優子、荒木 和美
山本 伸子、土江 洋二、福庭 栄治
岡田 成人、和田 昭彦、吉廻 毅
北垣 一

15. Dynamic MRI を施行した乳頭部汗管腺腫の一例

倉敷中央病 放

有本 麻耶、渡邊 祐司、永山 雅子
奥村 明、中野 覚、天羽 賢樹
石守 崇好、林 貴史、中下 悟
牧 大介、石橋 愛、廣瀬 瑞樹
池田 格、藪田 実、河村 晃
坂田 昭彦、西松 佳代、野橋 智美
山田 剛史、百々 義廣

12月18日(金)第1会場【15:10~15:50】

治療 1

座長：余田 栄作 先生
(川崎医大)

16. 当院における精巣原発悪性リンパ腫の治療経験

愛媛大 放 田口 千藏、藤井 崇、西川 敦
望月 輝一
同 内 薬師神芳洋

17. 当院における前立腺癌小線源永久挿入療法の初期成績

四国がんセ 放 越智 誉司、片岡 正明、上津孝太郎
城戸 倫之、濱本 泰、青野 祥司
高橋 忠章、酒井 伸也、井上 武
菅原 敬文

18. 前立腺がん放射線治療における直腸出血の比較：3DCRTとIMRT

四国がんセ 放 上津孝太郎、越智 誉司、濱本 泰
城戸 倫之、高橋 忠章、青野 祥司
酒井 伸也、井上 武、菅原 敬文
片岡 正明

19. 化学放射線療法により長期生存が得られた局所進行膀胱癌の1例

香川大 放 戸上 太郎、新井 花江、外山 芳弘
室田真希子、内ノ村 聡、福永浩太郎
木村 成秀、山本 由佳、西山 佳宏
滝宮総合病 放 高島 均

20. 18F FDG-PET を用いた疼痛緩和放射線治療の予後予測

鳥取大 放治 田原 誉敏、小谷 和彦、道本 幸一
島谷 康彦
同 放 小川 敏英
鳥取市立 放 松木 勉、坂本 博昭、藤原 史治
岡山大 放 奥村 能啓

12月18日(金)第2会場【13:10~13:50】

IVR 1

座長：大内 泰文 先生
(鳥取大)

21. 当院で施行した経肺穿刺によるCTガイド下肝RFAの合併症に対する検討

岩国医療セ 尾形 毅、小松めぐみ、黒瀬 太一

22. 上肢深部静脈血栓症に対してSVC filter留置および経カテーテル的血栓溶解療法を施行した1例

倉敷成人病セ 放 松井 裕輔、浅川 徹、浅川 真理
同 産婦人科 太田 啓明
同 リウマチ科 相田 哲史
同 初期研修医 柴田 貴世
岡山大 放 金澤 右

23. IVRが症状緩和に有用であった呼吸器非上皮性悪性腫瘍の2例

鳥取県立中央病 放 中村 一彦、足立 憲、藤原 義夫

24. TAEが奏効した特発性後腹膜出血の一例

川崎医大 放 野田 靖文、渡部 茂、神吉 照彦
佐藤 朋宏、山下 武則、玉田 勉
伊東 克能

25. 内胸動脈から栄養されたHCCに対するTACE—合併症とその対策について—

広島大 放診 梶原 賢司、柿沢 秀明、稗田 雅司
石川 雅基、谷為 恵三、谷 千尋
福田 浩、丸川 和志、高須 深雪
石川 美保、堀口 純
同 消化器・代謝内科 相方 浩
呉医療セ・中国がんセ 放 豊田 尚之、竹内 直子、中村 優子
広島総合病 画診 鈴木 孝之、藤川 光一

12月18日(金) 第2会場【13:50~14:30】

IVR 2

座長：三村 秀文 先生
(岡山大)

26. 中心静脈リザーバーカテーテル周囲にフィブリンシース形成が確認できた1例

広島大 放診

石川 雅基、柿沢 秀明、稗田 雅司
梶原 賢司、谷 千尋、谷為 恵三
石川 美保、高須 深雪、丸川 和志
福田 浩、堀口 純

27. 術後リンパ嚢腫に対する経皮的ドレナージの検討

呉医療セ・中国がんセ 放

竹内 直子、豊田 尚之、中村 優子

28. 術後腓液瘻による総肝動脈破綻にステントグラフトが有用であった一例

鳥取大 放

山本 修一、大内 泰文、杉浦 公彦
橋本 政幸、遠藤 雅之、神納 敏夫
小川 敏英

29. 感染性胸部下行大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を施行した1例

広島大 放診

柿沢 秀明、稗田 雅司、石川 雅基
梶原 賢司、谷為 恵三、谷 千尋
福田 浩、丸川 和志、高須 深雪
石川 美保、堀口 純
岡田 健志

同 心外

30. 非閉塞性腸管虚血 (NOMI)加療により緩解を得た一例

松山赤十字病 放

佐藤 芳子、吉岡 真二、起塚 香子
清水 輝彦、浦島 雄介、村田 繁利

12月18日(金)第2会場【14:30~15:10】

肝臓 その他(診断)

座長：玉田 勉 先生
(川崎医大)

31. G-CSF 産生肝細胞癌の一例

川崎医大 放

鳥越 晃之、檜垣 篤、谷本 大吾
東 浩樹、山下 武則、玉田 勉
伊東 克能

32. 自然経過で完全壊死を示した肝細胞癌の一例

川崎医大 放

植木 愛、江頭 直人、田中 冬樹
東 浩樹、山下 武則、玉田 勉
伊東 克能

33. マンソン住血吸虫症の2例

山口大 放

西川 正子、田辺 昌寛、藤田 岳史
上田 高顕、小野田秀子、松永 尚文

34. 粘液産生胆管細胞癌の1例

山口大 放

上田 高顕、田辺 昌寛、藤田 岳史
西川 正子、小野田秀子、松永 尚文

35. Hypervascular tumor 像を呈した脾過誤腫の一例

高知大 放

伊藤 悟志、山西 伴明、村田 和子
濱田 典彦、西岡 明人、小川 恭弘
同 PETセ 耕崎 志乃
同 一内 耕崎 拓大、西原 利治
同 一外 並川 努、花崎 和弘
同 病理 松本 学

12月18日(金)第2会場【15:10~15:58】

膵臓 その他(診断)

座長：中村 恩 先生
(島根大)

36. 十二指腸腫瘍との鑑別が困難であった膵癌の一例

善通寺病 放 原田 太平、安田 浩章、須井 修

37. 膵仮性嚢胞が門脈内に穿破した1例

山口大 放 田辺 昌寛、藤田 岳史、上田 高顕
西川 正子、小野田秀子、松永 尚文

38. 膵 solid-pseudopapillary tumor : 3症例の検討

松山赤十字病 放 起塚 香子、吉岡 真二、佐藤 芳子
清水 輝彦、浦島 雄介、村田 繁利

39. 非典型的な画像所見を呈した膵 SCT の1例

愛媛大 放 中村 壮志、武智 恵、兵頭 朋子
村上 正哲、田中 宏明、津田 孝治
望月 輝一
同 外 水本 哲也、渡邊 常太、串畑 史樹
高田 泰次

40. Congenital absence of the portal vein の一例

松山赤十字病 放 大久保智恵、吉岡 真二、起塚 香子
清水 輝彦、浦島 雄介、村田 繁利

41. 腹膜原発漿液性乳頭状腺癌の一例

鳥取大 放 金田 祥、藤井 進也、柿手 卓
塚本 雅之、神納 敏夫、小川 敏英

日本医学放射線学会 中国・四国地方会

一般演題 プログラム

12月19日(土)

12月19日(土) 第1会場【10:00~10:40】

腹部(診断)

座長：長尾 充展 先生
(愛媛大)

42. 異所性褐色細胞腫の1例

鳥取大 放

谷野 朋彦、松末 英司、太田 靖利
金崎 佳子、神納 敏夫、小川 敏英

43. 膀胱に穿破した虫垂粘液囊胞腺腫の1例

鳥取県立厚生病 放

同 外

同 泌

鳥取大 放

矢田 晋作、篠原 祐樹

吹野 俊介

村岡 邦康

小川 敏英

44. 子宮類上皮平滑筋腫の1例

四国がんセ 放

同 病

同 婦

城戸 倫之、菅原 敬文、井上 武

酒井 伸也、高橋 忠章、青野 祥司

上津孝太郎、越智 誉司、濱本 泰

片岡 正明

寺本 典弘

野河 孝充、三瀬 裕子

45. 甲状腺癌と卵巣甲状腺腫を同時に手術施行した2例

岡山労災病 放

岡山大 保健

岡山画像診断セ

岡山大 放

乗金精一郎

上者 郁夫

笹井 信也、井田健太郎、加地 充昌

奥村 能啓、佐藤 修平、金澤 右

46. 出血を契機に発見された右副腎骨髄脂肪腫の一例

姫路聖マリア病 放

同 泌

岡山大 放

井石龍比古、大前 健一、藤江 俊司

郷原 真輔、村上 貴典

金澤 右

12月19日(土) 第1会場【10:40~11:12】

骨軟部(診断)

座長：高尾 正一郎 先生
(徳島大)

47. 虚血性大腸炎の精査中に診断された骨髄線維症の一例

島根大 放

福庭 栄治、北野 和美、深澤 優子

山本 伸子、土江 洋二、岡田 成人

中村 恩、和田 昭彦、吉廻 毅

北垣 一

同 血内

高橋 勉

同 病理

荒木亜寿香、丸山理留敬

48. 多発性骨髄腫に併発したアミロイドーアの1例

下関市立中央病 放

加藤 雅俊、江本 拓也

血内

小川 亮介

49. 臀部に生じた glomus tumor の1例

高知医療セ 放

野田 能宏

整

米田 泰史

放

松坂 聡

放療

秦 康博、森田荘二郎

50. 挿管時の出血を機に急激に増悪した頭頸部動静脈奇形の1例

高知県立幡多けんみん病 放

片岡 優子、坪井 伸暁

同 耳鼻咽喉

横島 悦子

同 麻酔

橘 壽人、片岡由紀子

12月19日(土) 第1会場【11:12~12:08】

治療 2

座長：木村 智樹 先生
(広島大)

51. 硬膜下血腫を伴う硬膜下転移に対して放射線治療が奏功した1例

島根大 放	池田 新、内田 伸恵、森山 正浩
	横川 正樹、川口 篤哉
同 放	北垣 一
同 脳外	高田 大慶
同 泌	平岡 毅郎

52. 肺癌の定位放射線治療成績

徳島大 放	久保亜貴子、生島 仁史、尾崎 享祐
	古谷 俊介、川中 崇、西谷 弘

53. 高齢者非小細胞肺癌局所進展例に対する S-1 併用化学放射線療法 of the 第 I 相試験

岡山大 放	武本 充広、吉尾浩太郎、山下 真子
	勝井 邦彰、金澤 右
同 呼内	瀧川奈義夫、木浦 勝行、谷本 光音
岡山大 保	黒田 昌宏
山口宇部医療セ 放	榮 勝美

54. 4D-CT による肺機能画像を用いた放射線治療計画の試み

広島大 放	木村 智樹、西淵いくの、村上 祐司
	権丈 雅浩、兼安 祐子、永田 靖

55. パンコースト腫瘍の放射線治療～根治と緩和～

山口宇部医療セ 放 緩和内	榮 勝美
同 放	橋本かおり
同 放 緩和内	片山 英樹
岡山大 放	武本 充広、金澤 右

56. 4D-CT を用いた肺癌治療計画における ITV (internal target volume) の検討

広島大 放	西淵いくの、木村 智樹、村上 祐司
	権丈 雅浩、兼安 祐子、永田 靖

57. 遠赤外線を用いた全身加温療法による糖尿病改善効果

岡山大 保健	上者 郁夫、横峰 圭
岡山大福クリニック	宮木 康成
篠崎クリニック	篠崎 洋二